

重点的取組8

親の「学び」と「子育て」を支える環境づくり

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、家庭の責任と自主性のもと、生きるための基礎的な資質・能力を養い、人格の形成を図るものです。

しかしながら、近年、少子化や核家族化の進行、都市化の影響等により、親として学び、育つための学習機会が少なくなっており、親が家庭教育の担い手としての役割を十分に果たせない状況が見られます。

このため、地域全体で親の「学び」と「育ち」を支える環境づくりが重要であることから、共働きや地域内で孤立化する家庭に配慮しつつ、親の自主性を尊重した学びの場の提供、支援者の育成及び支援体制等の充実を図ります。また、関係機関、企業、NPO団体等をはじめ、地域全体で家庭教育と子育てを支える環境づくりを進めます。

【主な取組】

■ 親としての学びのための講座開催と情報提供

地域の家庭教育支援者等と連携を図りながら、子どもの成長の節目に合わせ、親としての学びの講座を各圏域や市町村で開催します。また、宮城県版家庭教育手帳の活用促進を図り、ホームページ等で家庭教育に関する情報を提供するなど、親としての学びを支援します。

■ 家庭教育支援体制の充実

保育所、幼稚園、学校等において、子育て相談や親子の交流の場を提供するとともに、地域で家庭教育及び子育てを支援する人材を発掘及び養成するため、「子育てサポーター」及び「子育てサポーターリーダー」の養成講座等を開催します。

さらに、家庭教育に関わる情報提供、学習機会のコーディネート、相談対応等を組織的に行うため、子育てサポーター、保健師、子育て経験者等で構成する「家庭教育支援チーム」や子育て支援サークルの普及及び定着を促進します。

■ 子育てにやさしい環境づくり

企業等と連携しながら、就労者が仕事と育児を両立させ、安心して家庭教育や子育てができる職場環境づくりを進めるとともに、企業等の社会貢献活動の一環として、家庭教育や協働教育を支える取組を推進します。

さらに、放課後や週末等に、地域住民の協力を得ながら、子どもたちが学習活動、遊び、交流活動等を行うことのできる、安全安心な子どもの居場所づくりを推進します。

■ 子どもの生活習慣確立の推進

各家庭において「はやね・はやおき・あさごはん」等基本的な生活習慣の確立に向けた取組が積極的に行われるよう、一般県民、学校・保育所・幼稚園、関係機関、民間団体、企業等への普及啓発活動を推進し、社会全体で子どもの生活習慣確立を推進する体制を整えます。

家庭では次のような取組が期待されます。

- 様々な学習機会を活用し、子育てや親の役割についての理解を深める
- 子育てに不安を感じたら、子育て経験者や相談機関を活用し、解決を図る

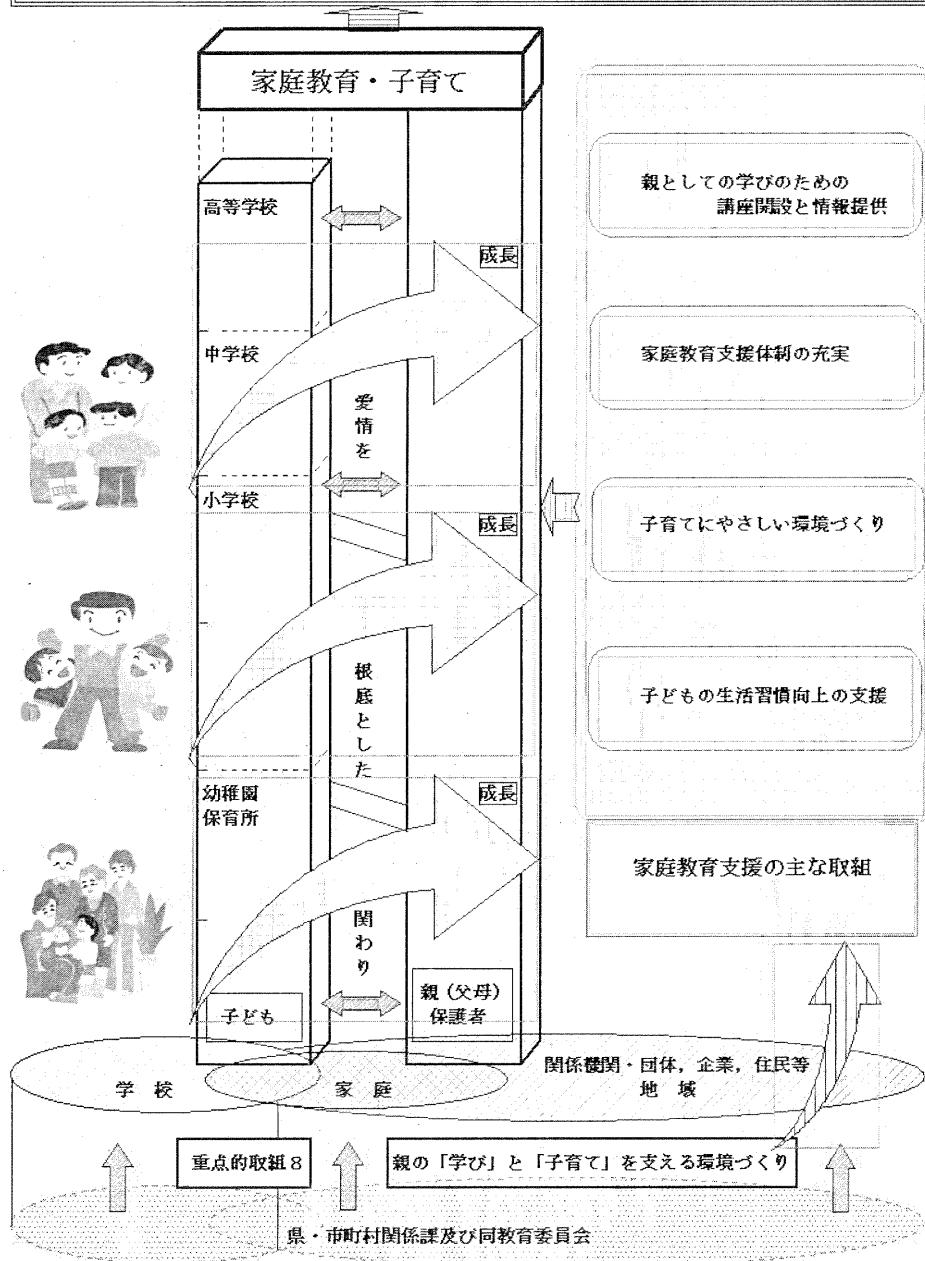
地域では次のような取組が期待されます。

- 子育てをしている親同士が交流できるような地域組織活動を活性化する
- 企業では、従業員が仕事と家庭を両立できるような職場環境を整備する

基本方向5 家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり

県民へのメッセージ

安心感と自信をもって家庭教育を施し、子どもとともに成長する保護者
～愛情を根底とした家庭教育・子育ての考えと手法を親から子へ、子から孫へ～



重点的取組9

地域と学校の協働による学校支援の仕組みづくり

次代を担う子どもを健全に育成するためには、学校・家庭・地域それぞれが教育において果たす役割と責任を自覚し、相互に連携して子どもの成長を支える環境を整備していくことが重要です。

そのため、地域と学校をつなぐ継続的な体制を構築し、家庭、地域、学校、行政、企業、NPO法人等が協働して教育活動を展開する「みやぎらしい協働教育」の取組を推進します。

また、学校や家庭で子どもたちが被害者・加害者となる事件・事故が多く発生していることから、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちが安心して通学、学習及び生活できる環境を確保するよう努めます。

【主な取組】

■ 「みやぎらしい協働教育」の推進

地域と学校を結ぶ協働教育が円滑に継続して行われるよう、市町村に対し、組織作りの必要性について啓発するとともに、実際の組織作りやその活性化に関して支援や助言を行います。また、市町村と連携して地域の教育資源や人材の掘り起こしを積極的に行うとともに、協働教育を支えるコーディネーターの育成や事例等の収集・提供等を通じた取組の普及を進めます。

■ 協働教育を推進する組織に対する支援

協働教育の普及のため、地域が学校を支え応援する「学校支援地域本部」等の組織を支援し、コーディネーターや学校支援ボランティアを中心に、学校の様々な活動の促進を図ります。

■ 地域ぐるみの学校安全体制の整備

地域や関係機関と連携し、子どもの危険回避能力を向上させるための安全教室、防犯教室、非行防止教室等を開催するとともに、学校安全ボランティア等の養成及び活用により、地域ぐるみで学校安全の確保に努めます。また、子どもの交通安全意識の高揚のため、警察等と協力して交通安全教室等を開催します。

■ 子どもの健全な育成のための環境づくり

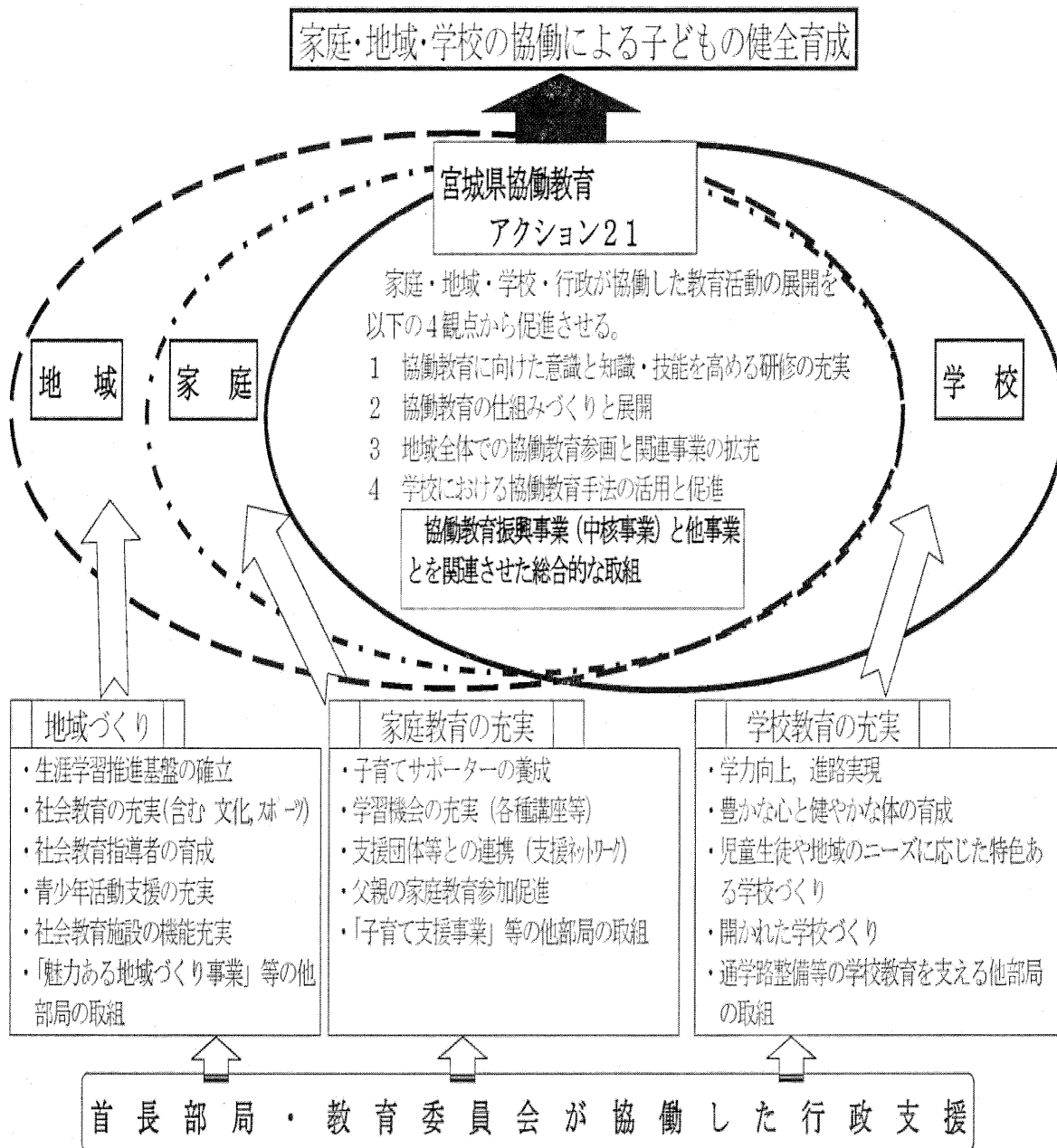
非行の未然防止を図るため、街頭指導等を実施するとともに、関係機関が定期的に情報交換するなど連携を強化します。また、子どもにとって有害な環境を浄化するため、行政機関の立入調査等により実態の把握に努めるとともに、地域住民の主導による総合的な環境浄化活動を推進します。

家庭では次のような取組が期待されます。

- 自らの知識・技能を生かし、ボランティアとして地域の活動や学校支援活動に積極的にかかわる
- 地域の防犯・防災行事に参加し、緊急時の対応や防犯に関する約束事について家族で話し合う

地域では次のような取組が期待されます。

- 地域住民、企業、NPO団体等が互いに密接に連携・協力しながら、協働教育の取組を進め、社会総がかりで子どもの教育に取り組む
- 学校安全ボランティア、地域安全ボランティア等の活動に参加し、児童生徒の事件事故の未然防止に努める



重点的取組10

地域をつくる生涯学習・文化芸術の推進

社会及び生活様式が大きく変化する中で、だれもが生きがいを持ち、充実した心豊かな生活を送るためには、学校だけでなく生涯を通じて学び続け、その成果を地域で活かしていくことが一層重要になってきています。

そのため、個人のニーズや社会の要請に対応した課題に関する学習機会の提供を充実し、そこで学んだ成果をボランティア活動等によって地域づくりにも活かすなど、地域社会に還元できるよう支援するとともに、図書館、青少年教育施設、公民館等の社会教育施設における取組の充実により、地域の教育力の活性化を図ります。

また、青少年による文化芸術の参加・体験活動の充実や文化芸術活動の奨励等を通じて、地域文化の活性化を図ります。

【主な取組】

■ 学習機会の提供

高度化し、多様化している県民の学習ニーズに対応するため、県内の大学、高等学校、社会教育関連施設等と連携して、環境、福祉、消費者問題、食育等社会の要請に応える学習機会を用意するとともに、ホームページの活用等によりそれらの情報を広く提供します。

■ 生涯学習支援者の養成と活用

地域における人材及び教育資源の活用を進めるために、企画立案力と実践力を備えた生涯学習のコーディネーターを養成します。また、様々な学級及び講座の修了者が学習成果を地域や社会で生かせるよう、ボランティア希望者・団体の情報の提供等を行い、ボランティア活動を支援します。

■ 社会教育関係職員の資質向上と社会教育施設の活用

社会教育関係職員の資質向上のための研修会を充実するとともに、社会教育主事等の人材活用を図ります。

また、社会教育施設では、地域の学習拠点として、その地域が抱える様々な課題への対応、社会の要請が高い分野の学習、家庭教育の支援等の取組を推進し、地域の社会教育及び生涯学習の活性化並びに地域の教育力の向上を図ります。

■ 青少年の文化芸術活動の充実

青少年を中心に優れた芸術の鑑賞機会を提供するとともに、文化芸術に触れることによる感動や楽しさを味わうことのできる参加機会や体験活動機会の充実を図ります。

■ 文化芸術活動を担う人材・団体の育成

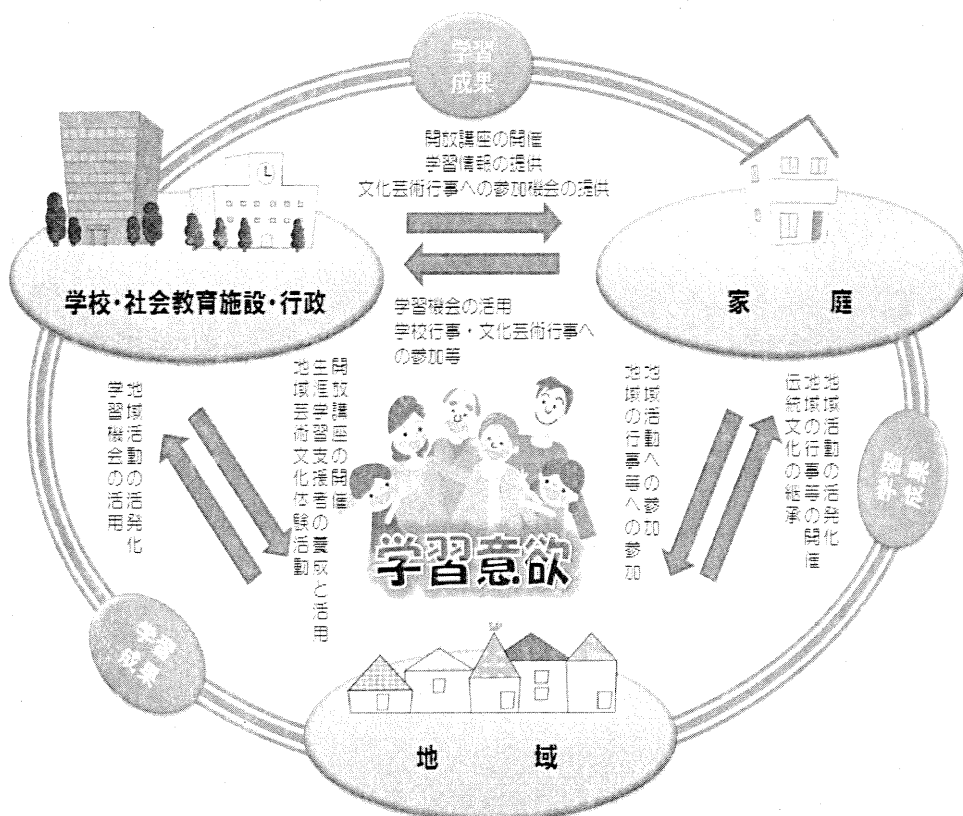
活発な創作活動を行い、優れた作品を発表する個人、グループ、団体等を育成し、連携を支援することにより、文化芸術活動の奨励と活性化を図ります。

家庭では次のような取組が期待されます。

- 社会教育施設、大学等が行う講座等様々な学習機会を活用する
- 学校・地域の行事や活動に親子で積極的に参加し、地域の人々とのかかわりの中で、親子で一緒に学ぶ習慣を作り、子どもの学ぶ意欲を育てる

地域では次のような取組が期待されます。

- 地域ぐるみの行事等を充実させ、大人も子どもも互いにに関わりながら学ぶことができる地域づくりに努める



重点的取組 1 1

生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実

生涯を通じてスポーツに親しむことは、健康や体力の保持増進に加え、生活に潤いと活力を与え、人生を充実させます。また、健康志向の高まりにより、スポーツやレクリエーションに対する関心が高まってきています。

我が国では、学校を中心にスポーツが普及した結果、学校を卒業するとスポーツに親しむ機会が減少する傾向にあります。また、総合型地域スポーツクラブが設置されてきていますが、だれもが、どこでも、いつでも、いつまでもスポーツに親しめる環境になっているとは言えません。

年代や技術レベル、障害の有無にかかわらず、だれもが、いつでも生涯を通じてスポーツに取り組めることができる環境を整え、充実したスポーツライフを送ることができる社会を目指します。

【主な取組】

■ 総合型地域スポーツクラブの支援

市町村、地域住民等と協働しながら、地域に根ざした公共性・公益性の高い総合型地域スポーツクラブの育成と活動の支援を推進します。

■ 関係機関との連携

放課後子ども教室、運動部活動等との連携を深めるとともに、地域の指導者との情報交換を積極的に行います。高等学校、大学等における競技スポーツ経験者等を指導者としてスポーツリーダーバンクに登録し、スポーツ指導者に関する情報の積極的な提供を行うことなどで、種目、技術レベル等に応じ幅広い人材の活用ができる体制を整備します。

■ 活動の場の充実

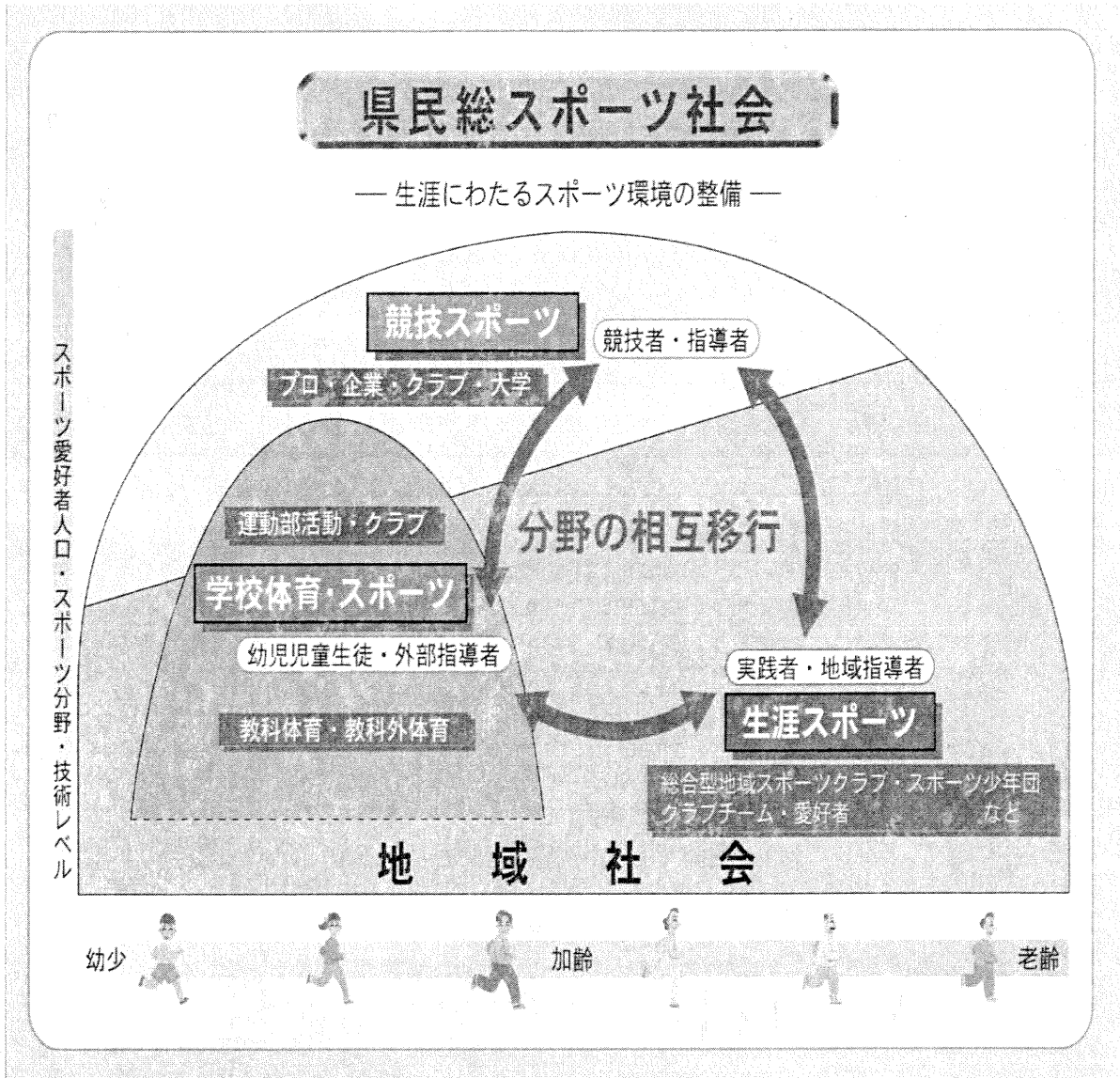
生涯を通してスポーツやレクリエーションに親しむことができるよう、地域の学校施設開放等を通じてスポーツやレクリエーション活動への参加機会を拡充します。

家庭では次のような取組が期待されます。

- 余暇時間の使い方を工夫し、親子での運動時間の確保に努める
- 地域のスポーツ活動の機会に積極的に参加し、地域の人々との交流を深める

地域では次のような取組が期待されます。

- 青少年育成、スポーツ推進等に関わる組織が連携し、スポーツを通じた地域コミュニティや環境を整える



第5章 計画の推進

1 計画の推進に向けた施策の在り方

本計画の推進に当たっては、教育等にかかわる人材の確保や教育環境の整備に必要な予算の確保に努めるとともに、人材や経費を最大限に活用するため、重点的・効率的に施策を実施する必要があります。このため、施策が的確に県民の教育上のニーズに応えるものになるよう、適切に執行状況等を評価しながら本計画の進行管理を行っていきます。

(1) アクションプランの策定

本計画の推進のために実施する施策については、その内容や年次計画等を具体的に示すアクションプランを策定します。当初は平成22年度から4年間について策定し、その後は、社会経済情勢の変化を踏まえ、各施策の進捗状況の把握、達成状況の評価等を行い、次期のアクションプランを策定するものとします。

(2) PDCAサイクルによる進行管理

本計画の着実な推進を図るためには、進捗状況を常に把握するなどの的確な進行管理を行う必要があります。アクションプランに定めた施策については、計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、改善(Action)のPDCAサイクルの考え方に基づく進行管理を行っていきます。

2 関係機関・関係団体等との連携

教育は、多くの関係者の取組により社会全体が担うものであり、本計画の推進に当たっては、市町村等の行政機関のみならず、企業やNPO等の民間団体、地域団体等とも連携を図る必要があります。このため、次のような方針のもとで、円滑かつ効果的に各施策が展開されるよう留意しながら本計画を推進していきます。

(1) 市町村教育委員会との連携

本計画を実効性のあるものとして着実に推進していくためには、何よりも各学校現場の教職員が一体となって取り組む意識が必要です。そのためには、県立学校はもとより、市町村教育委員会が所管する学校においても、本計画に対する理解を深め、着実な取組がなされる必要があります。このため、市町村教育委員会との間で十分な意見交換等を行い、共通認識の形成を図っていきます。

(2) 地域や企業、民間団体等との連携

本計画では、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら緊密に連携して子どもの教育を行うことを目指しています。その実現のために、まず、PTA等の教育関係団体との連携・協力体制を強化するとともに、児童生徒が望ましい勤労観、職業観を育むためには、職場体験などの体験活動が効果的であ

ること、さらに、高度で特色のある教育活動に取り組む高校にあっては、大学や企業、NPO等からの支援を受けた授業を行う必要があることから、そうした高等教育機関や民間団体等との連携・協力体制も構築していきます。

(3) 県の関係部局の連携

教育に関わる施策は、教育委員会をはじめ、子育て、文化振興、地域づくり、健康、環境、福祉、労働に係るものなど、県の各部局においても横断的に行われています。このため、教育委員会を中心として、関係部局相互の連携をこれまで以上に緊密にして、各施策が相乗的な効果を生み出すよう努めていきます。

(4) 国への働きかけ

国は教育制度の枠組みや学習指導要領などの基準を設定し、教育水準の維持、向上に努めるとともに、全国的な教育の機会均等の実現などの役割を担っています。本計画の推進に当たっては、国の制度や施策が及ぼす影響が大きいことから、必要に応じ、国に対して制度の見直しや施策の提案等の働きかけを行っていくとともに、必要な財政上の措置や教員定数等の改善等についても要請していきます。

3 県民総がかりによる教育施策の展開

学校、家庭、地域が緊密に連携した、社会総がかりで次世代を育てる教育が展開されるためには、教育関係者だけでなく、保護者や産業界、一般県民の理解と協力が不可欠です。そのためには、本計画とアクションプランに示す施策の内容や目標等に関して、広く理解を得ることが重要です。このため、パンフレットの配布や県政だより、ホームページ等の活用により、積極的に周知を図っていきます。

また、必要に応じて、教育関係者、保護者、児童生徒等を対象に教育に関する意識調査を行い、今後の事業や施策の在り方に反映させていきます。

(資 料)

- 1 策定経過
 - (1) 諮問
 - (2) 審議経過
 - (3) 宮城県教育振興審議会委員名簿
 - (4) 教育振興審議会条例

- 2 教育に関する県民意識調査について
 - (1) 調査の概要
 - (2) 集計結果(概要)

1 策 定 経 過

(1) 諮 問

教 企 第 2 2 号
平成20年7月18日

宮城県教育振興審議会会長 殿

宮城県知事 村井嘉浩

宮 城 県 教 育 委 員 会

宮城県の教育振興基本計画の策定について（諮問）

このことについて、教育振興審議会条例（平成20年宮城県条例第3号）第1条の規定により、別紙理由書を添えて諮問します。

（別紙）

理 由 書

人口減少社会の到来、国際化の進展、地方分権社会への移行など、教育を取り巻く環境が大きく変化
する中で、次代を担う人づくりに向けた教育がますます重要になっています。

このような中で、一昨年12月に、約60年ぶりに教育基本法が改正され、新たな教育の目的・目標、
基本理念が掲げられる中で、教育の目指すべき姿を明確にして、その実現に向けた具体的な道筋を明ら
かにする観点から、国においては、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための教
育振興基本計画を定めることが規定され、各地方公共団体に対しても定めることが求められています。

本県では、現在、学校教育、スポーツ及び生涯学習の各基本計画とともに、「宮城の将来ビジョン」
において、教育施策や事業を掲げ教育改革に取り組んでいるところですが、教育関係施策を総合的かつ
体系的に位置付けた計画は策定していない状況です。

このようなことから、本県教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、本県教
育の目指すべき姿と、その実現に向けた施策の方向性を示す、本県の教育振興基本計画の策定について
諮問するものです。

(2) 審議経過

実施日	行事名等	内容
平成20年 7月 1日 ～ 7月31日	教育に関する意見募集	○ 応募数 42件(郵送, ファクシミリ, 電子メール)
平成20年 7月 6日	宮城の教育振興基本計画に関する 意見聴取会(大崎地区)	○ 意見発表者 5名 ○ 傍聴者 25名
平成20年 7月 6日	宮城の教育振興基本計画に関する 意見聴取会(石巻地区)	○ 意見発表者 5名 ○ 傍聴者 13名
平成20年 7月13日	宮城の教育振興基本計画に関する 意見聴取会(仙南地区)	○ 意見発表者 5名 ○ 傍聴者 17名
平成20年 7月13日	宮城の教育振興基本計画に関する 意見聴取会(仙台地区)	○ 意見発表者 6名 ○ 傍聴者 33名
平成20年 7月18日	第1回宮城県教育振興審議会	○ 委員の委嘱, 任命 ○ 諮問 ○ 宮城県の教育の現状について ○ 教育に関する県民意識調査について
平成20年 7月21日	宮城の教育振興基本計画に関する 意見聴取会(登米地区)	○ 意見発表者 6名 ○ 傍聴者 22名
平成20年 7月21日	宮城の教育振興基本計画に関する 意見聴取会(気仙沼・本吉地区)	○ 意見発表者 5名 ○ 傍聴者 13名
平成20年 7月27日	宮城の教育振興基本計画に関する 意見聴取会(栗原地区)	○ 意見発表者 5名 ○ 傍聴者 13名
平成20年 9月19日 ～ 10月10日	教育に関する県民意識調査	○ 20歳以上の一般県民男女3,000 人を対象に調査票を配布・回収(回収率 34.5%) ○ 学校等保護者1,603人を対象に調 査票を配布・回収(回収率80.7%)
平成20年11月 4日	第2回宮城県教育振興審議会	○ 県民意識調査, 意見聴取会, 意見募集 の結果報告 ○ 本県教育が目指す方向性の検討
平成21年 1月27日	第3回宮城県教育振興審議会	○ 計画骨子案の検討
平成21年 6月19日	第4回宮城県教育振興審議会	○ 答申中間案(素案)の検討
平成21年 8月28日	第5回宮城県教育振興審議会	○ 答申中間案の検討①
平成21年10月13日	第6回宮城県教育振興審議会	○ 答申中間案の検討②
平成21年10月22日 ～11月21日	パブリックコメント実施	○ 意見提出者 12名 ○ 意見・提言数 144件
平成21年12月15日	第7回宮城県教育振興審議会	○ パブリックコメント実施結果 ○ 答申案の検討

(3) 宮城県教育振興審議会委員名簿

氏 名	所 属	備 考
四ツ柳 隆夫	国立大学法人東北大学未来科学技術共同研究センター名誉教授	会長
川島 隆太	国立大学法人東北大学加齢医学研究所教授	副会長
佐藤 雅子	国立大学法人宮城教育大学教育学部教授	
猪平 眞理	国立大学法人宮城教育大学教育学部教授	
村山 十五	学校法人村山学園・学校法人おおとり学園理事長 ((社) 宮城県私立幼稚園連合会理事長)	
鈴木 安子	栗原市立有賀小学校長 (宮城県小学校長会理事)	
青沼 一民	仙台市立富沢中学校長 (仙台市中学校長会会長)	
庄司 恒一	宮城県仙台第二高等学校長 (宮城県高等学校長協会副会長)	
松良 千廣	学校法人常盤木学園理事長 (宮城県私立中学高等学校連合会会長)	
奥山 恵美子	仙台市長 (宮城県市長会会長)	
佐々木 功悦	美里町長 (宮城県町村会会長)	
鈴木 清子	柴田町教育委員会委員長 (宮城県市町村教育委員会協議会委員)	
高橋 定光	宮城県PTA連合会会長	
竹田 愛子	宮城大学事業構想学部学生	
石垣 政裕	お父さんたちのネットワーク世話人	
後藤 道子	南光台東エンジョイ倶楽部事務局長	
佐々木 とし子	宮城県地域活動(母親クラブ)連絡協議会会長	
伊藤 秀雄	有限会社伊豆沼農産代表取締役	
山城 巖	株式会社東栄科学産業代表取締役会長	
橋 眞紀子	有限会社岩沼屋ホテル専務取締役	
梅原 克彦	前仙台市長 (前宮城県市長会会長)	前委員

(4) 教育振興審議会条例

平成20年3月25日
宮城県条例第3号

(設置)

第1条 教育委員会又は知事の諮問に応じ、教育の振興のための施策に関する基本的な計画の策定及び当該計画に関する重要事項を調査審議するため、宮城県教育振興審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(組織等)

第2条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者、県の職員その他教育委員会が適当と認める者のうちから、教育委員会が知事の意見を聴いて任命する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第5条 審議会は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、10人以内とし、会長が指名する。

3 前2条の規定は、部会について準用する。

(委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(附属機関の構成員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 附属機関の構成員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例(昭和28年宮城県条例第69号)の一部を次のように改正する。
別表に次のように加える。

宮城県教育振興審議会の委員	出席一回につき 11,600円	6級
---------------	-----------------	----

2 教育に関する県民意識調査について

(1) 調査の概要

1 調査目的

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本県教育の振興に関する総合的かつ計画的な推進を図るため、基本的な方針、講ずべき施策の方向性等を示す本県の教育振興基本計画を策定するに当たり、県民の教育に関する意識をアンケート形式により調査し、本計画策定の基礎資料とするもの

2 調査項目

県民の教育に関する意識を調査するため、本調査の調査項目は概ね次のとおりとする。

- (1) 学校教育や家庭教育など教育の現状等に関すること
- (2) これからの教育の目指すべき方向性に関すること
- (3) 学校、家庭、地域等が担うべき教育の役割と期待に関すること
- (4) 生涯学習、スポーツ、文化、芸術等に関すること

3 調査地域 宮城県全域

4 調査対象

- ① 一般県民
県内に在住する平成20年4月1日現在で満20歳以上の男女3,000人（男1,500人、女1,500人）
- ② 学校等保護者
県内の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校26校（所・園）の保護者1,603人

5 調査方法

- (1) 調査票の配布、回収は郵送等により行う。
- (2) 調査標本の抽出方法
 - ① 一般県民
県内全市区町村選挙人名簿から無作為抽出
 - ② 学校等保護者
地域バランス、学校種を考慮した上で学校統計要覧等から抽出

6 調査期間 平成20年9月19日～平成20年10月10日

7 回収結果

- ① 一般県民
回答数1,034通 回収率34.47%
- ② 学校等保護者
回答数1,293通 回収率80.66%

(2) 集計結果 (概要)

I 宮城の子どもたちの将来について

(1) これからの社会には、どのような人がより必要だと思いますか。(3つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(6)社会のルールを守り、正義や責任などの気持ちをしっかり持つ人」、②「(7)よい人間関係をつくるコミュニケーション能力があり、人と協力してものごとにあたることができる人」、③「(8)苦しさ・つらさなどに耐える力をもち、ねばり強くものごとにあたる人」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(7)よい人間関係をつくる...」、②「(6)社会のルールを守り...」、③「(2)自分で考え行動するなど、自立心をもつ人」の順で回答率が高かった。

一保		【一般県民】	【保護者】	(参考)	【総計】
	(1) いつも学びつづけ、自分を高める努力をする人	135 4.5%	188 5.0%	323 4.8%	
③	(2) 自分で考え行動するなど、自立心をもつ人	410 13.5%	611 16.3%	1,021 15.0%	
	(3) 未来のことや新しいことを考える力があり、社会をより良くしようとする人	284 9.4%	319 8.5%	603 8.9%	
	(4) 地域の行事に積極的に参加するなど、地域を支えることに熱心な人	187 6.2%	142 3.8%	329 4.8%	
	(5) 豊かな心、すこやかな身体、高い教養をバランス良くあわせ持つ人	181 6.0%	229 6.1%	410 6.0%	
①②	(6) 社会のルールを守り、正義や責任などの気持ちをしっかり持つ人	584 19.3%	646 17.2%	1,230 18.1%	
②①	(7) よい人間関係をつくるコミュニケーション能力があり、人と協力してものごとにあたることができる人	477 15.7%	647 17.2%	1,124 16.5%	
③	(8) 苦しさ・つらさなどに耐える力をもち、ねばり強くものごとにあたる人	449 14.8%	545 14.5%	994 14.6%	
	(9) 美しいもの、すばらしいことに感動する心をもち、感じたこと考えたことを表現できる人	241 7.9%	352 9.4%	593 8.7%	
	(10) 文化・芸術、スポーツなどで活躍し、夢や感動をあたえる人	73 2.4%	69 1.8%	142 2.1%	
	(11) その他	9 0.3%	10 0.3%	19 0.3%	
	無回答・無効回答	3 0.1%	2 0.1%	5 0.1%	

(2) これから子どもたちが育っていく上で特に必要なことは何だと思いますか。(3つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(9)やってよいことと、してはいけないことの判断ができること」、②「(7)他人の立場を理解し尊重できること」、③「(1)身体が丈夫で健康なこと」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(9)やってよいことと、してはいけないこと...」、②「(4)困ったときにどうするか、状況を見て決められる判断力を持つこと」、③「(1)身体が丈夫で健康...」の順で回答率が高かった。

一保		【一般県民】 n=3,065	【保護者】 n=3,735	(参考)	【総計】 n=6,800
③③	(1) 身体が丈夫で健康なこと	373 12.2%	483 12.9%	856 12.6%	
	(2) 社会の役に立とうとする気持ちを持つこと	74 2.4%	74 2.0%	148 2.2%	
	(3) 身につけた知識や技能を社会のために活用できる力を持つこと	170 5.5%	116 3.1%	286 4.2%	
②	(4) 困ったときにどうするか、状況を見て決められる判断力を持つこと	359 11.7%	590 15.8%	949 14.0%	
	(5) 新しい考え方で新しいものごとを創り出す力を持つこと	51 1.7%	41 1.1%	92 1.4%	
	(6) 自ら進んで学ぼうとする意欲を持つこと	183 6.0%	257 6.9%	440 6.5%	
②	(7) 他人の立場を理解し尊重できること	374 12.2%	454 12.2%	828 12.2%	
	(8) 他人を信じ、良好な人間関係を築く力を持つこと	75 2.4%	100 2.7%	175 2.6%	
①①	(9) やってよいことと、してはいけないことの判断ができること	599 19.5%	656 17.6%	1,255 18.5%	
	(10) 美しいもの、清らかなものに感動できること	48 1.6%	67 1.8%	115 1.7%	
	(11) 礼儀正しいこと	126 4.1%	157 4.2%	283 4.2%	
	(12) 伝統や文化を大切にし、日本やふる里を好きになること	82 2.7%	58 1.6%	140 2.1%	
	(13) 生命や自然を大切にすることをもちつこと	315 10.3%	386 10.3%	701 10.3%	
	(14) 国際的な広いものの見方ができる力を持つこと	83 2.7%	89 2.4%	172 2.5%	
	(15) 将来自分が何をしたいか、しっかり考えられること	147 4.8%	202 5.4%	349 5.1%	
	(16) その他	3 0.1%	3 0.1%	6 0.1%	
	無回答・無効回答	3 0.1%	2 0.1%	5 0.1%	

(3) 子どもたちの教育環境で、これからはどのようなことが特に大切だと思いますか。(3つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(7)親と子のコミュニケーションがしっかりとれるようにすること」、②「(13)安全・安心な地域づくり」、③「(12)隣近所が仲良く、大人たちと子どもの関わりが多い地域づくり」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(13)安全・安心な...」、②「(7)親と子のコミュニケーション...」、③「(1)学校で教える勉強や学習の内容」の順で回答率が高かった。

		n=2,998	n=3,459	n=6,457
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
③	(1) 学校で教える勉強や学習の内容	236 7.9%	342 9.9%	578 9.0%
	(2) 学校の施設や設備を整えること	38 1.3%	66 1.9%	104 1.6%
	(3) 特色のある魅力的な学校	159 5.1%	119 3.4%	272 4.2%
	(4) 高い資質・能力を持つ学校の教師	213 7.1%	231 6.7%	444 6.9%
	(5) 教師が子どもと過ごす時間をたくさん持てること	165 5.5%	179 5.2%	344 5.3%
	(6) 障害のある子どもがきちんと学べること	151 5.0%	156 4.5%	307 4.8%
①②	(7) 親と子のコミュニケーションがしっかりとれるようにすること	430 14.3%	491 14.2%	921 14.3%
	(8) 幼児期(3歳まで)の家庭教育がしっかりとれるようにすること	203 6.8%	123 3.6%	326 5.0%
	(9) 親が子育てを学ぶ場をもっとつくること	177 5.9%	139 4.0%	316 4.9%
	(10) 子どもに悪い影響をあたえる携帯電話やインターネットなどへの対応の指導を行うこと	197 6.6%	228 6.6%	425 6.6%
	(11) 放課後や休日に、子どもたちがいっしょに遊んだり活動したりする場や行事をつくること	183 6.1%	189 5.5%	372 5.8%
③	(12) 隣近所の仲がよく、大人たちと子どもの関わりが多い地域づくり	342 11.4%	309 8.9%	651 10.1%
②①	(13) 安全・安心な地域づくり	381 12.7%	692 20.0%	1,073 16.6%
	(14) だれもが、いつでも、気軽に身体を動かしたり、読書や文化・芸術活動ができること	114 3.8%	164 4.7%	278 4.3%
	(15) その他	13 0.4%	24 0.7%	37 0.6%
	無回答・無効回答	2 0.1%	7 0.2%	9 0.1%

(4) 社会の大きな変化の中で、これからの教育は、学校や家庭だけでなく、地域住民、企業、社会教育団体、NPOなどからなる地域社会全体の問題として取り組んでいくことが必要といわれていますが、そう思いますか。(1つ)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(1)そう思う」、②「(2)どちらかといえばそう思う」の順で回答率が高く、この2つの回答の割合を合わせると、一般県民で80%、保護者で78%を占めている。

		n=1,034	n=1,293	n=2,327
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
①①	(1) そう思う	524 50.7%	540 41.8%	1,064 45.7%
②②	(2) どちらかといえばそう思う	300 29.0%	461 35.7%	761 32.7%
	(3) どちらかといえばそう思わない	29 2.8%	45 3.5%	74 3.2%
	(4) そうは思わない	64 6.2%	42 3.2%	106 4.6%
	(5) どちらともいえない	76 7.4%	116 9.0%	192 8.3%
	(6) わからない	34 3.3%	72 5.6%	106 4.6%
	無回答・無効回答・無効回答	7 0.7%	17 1.3%	24 1.0%

II 学校教育(幼稚園・小学校・中学校・高等学校)の今とこれからについて

(5) 今の幼稚園の教育についてどう思いますか。(1つ)

【概要】

○一般県民、保護者とも「(2)ほぼ満足している」と答えた割合が最も高く、「(1)満足している」と答えた割合と合わせると、一般県民で45%、保護者で53%を占めている。

○一般県民、保護者とも「(6)分からない」と答えた割合が2番目に高かった。

		n=1,034	n=1,293	n=2,327
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 満足している	93 9.0%	178 13.8%	271 11.6%
①①	(2) ほぼ満足している	369 35.7%	508 39.3%	877 37.7%
	(3) やや不満である	118 11.4%	179 13.8%	297 12.8%
	(4) 不満である	68 6.6%	65 5.0%	133 5.7%
	(5) どちらともいえない	111 10.7%	150 11.6%	261 11.2%
②②	(6) わからない	267 25.8%	185 14.3%	452 19.4%
	無回答・無効回答・無効回答	8 0.8%	28 2.2%	36 1.5%

(6) 幼稚園の教育では、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(1)遊びを通していろいろな経験をさせること」、②「(7)美しいものに感動する心や、好奇心を持つてものごとの様子を探る心を育てること」、③「(5)道徳心や社会性を育てること」の順で回答率が高かった。

		n=1,986	n=2,442	n=4,428
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
①①	(1) 遊びを通していろいろな経験をさせること	614 30.9%	798 32.7%	1,412 31.9%
	(2) 文字や数字を教えるなど知的な教育をおこなうこと	53 2.7%	86 3.5%	139 3.1%
	(3) きちんとした「しつけ」をすること	336 16.9%	287 11.8%	623 14.1%
	(4) 個性や適性を伸ばすこと	128 6.4%	224 9.2%	352 7.9%
③③	(5) 道徳心や社会性を育てること	358 18.0%	408 16.7%	766 17.3%
	(6) 体力をつけ、たくましさを養うこと	112 5.6%	122 5.0%	234 5.3%
②②	(7) 美しいものに感動する心や、好奇心を持つてものごとの様子を探る心を育てること	371 18.7%	478 19.6%	849 19.2%
	(8) その他	9 0.5%	14 0.6%	23 0.5%
	無回答・無効回答	5 0.3%	25 1.0%	30 0.7%

(7) 今の小学校の教育についてどう思いますか。(1つ)

【概要】

○一般県民、保護者とも「(2)ほぼ満足している」と答えた割合が最も高く、「(1)満足している」と答えた割合と合わせると、一般県民で約34%、保護者で45%を占めている。

○一般県民、保護者とも「(3)やや不満である」と答えた割合が2番目に高く、「(4)不満である」と答えた割合と合わせると、一般県民で約36%、保護者で約33%を占めている。

		n=1,034	n=1,293	n=2,327
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 満足している	57 5.5%	62 4.8%	119 5.1%
①①	(2) ほぼ満足している	296 28.6%	518 40.1%	814 35.0%
②②	(3) やや不満である	242 23.4%	307 23.7%	549 23.6%
	(4) 不満である	126 12.2%	119 9.2%	245 10.5%
	(5) どちらともいえない	114 11.0%	138 10.7%	252 10.8%
	(6) わからない	187 18.1%	88 6.8%	275 11.8%
	無回答・無効回答	12 1.2%	61 4.7%	73 3.1%

(8) 今の中学校の教育についてどう思いますか。(1つ)

【概要】

○一般県民では「(3)やや不満である」と答えた割合が最も高く、「(4)不満である」と答えた割合と合わせると、約44%を占めている(保護者では35%)。

○保護者では「(2)ほぼ満足している」と答えた割合が最も高く、「(1)満足している」と答えた割合と合わせると、約26%を占めている(一般県民では20%)。

		n=1,034	n=1,293	n=2,327
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 満足している	27 2.6%	36 2.8%	63 2.7%
①	(2) ほぼ満足している	179 17.3%	303 23.4%	482 20.7%
①②	(3) やや不満である	258 25.0%	290 22.4%	548 23.5%
	(4) 不満である	191 18.5%	162 12.5%	353 15.2%
	(5) どちらともいえない	114 11.0%	146 11.3%	260 11.2%
②	(6) わからない	231 22.3%	218 16.9%	449 19.3%
	無回答・無効回答	34 3.2%	138 10.7%	172 7.4%

(9) 小学校の教育では、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(3つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(1)基礎的な学力を身につけさせること」、②「(2)基本的な生活習慣を身につけさせること」、③「(3)道徳教育の充実」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(1)基礎的な学力...」、②「(2)基本的な生活習慣...」、③「(7)教師と児童・生徒がよりよい人間関係を築くこと」の順で回答率が高かった。

		n=2,916	n=3,502	n=6,418
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
①①	(1) 基礎的な学力を身につけさせること	759 26.0%	1,004 28.7%	1,763 27.5%
②②	(2) 基本的な生活習慣を身につけさせること	513 17.6%	539 15.4%	1,052 16.4%
③	(3) 道徳教育の充実	492 16.9%	524 15.0%	1,016 15.8%
	(4) いじめ、非行、不登校などへの対応の強化	317 10.9%	416 11.9%	733 11.4%
	(5) 小学校と中学校の連携を強めること	87 3.0%	108 3.1%	195 3.0%
	(6) 進路指導の充実	18 0.6%	24 0.7%	42 0.7%
③	(7) 教師と児童・生徒がよりよい人間関係を築くこと	409 14.0%	530 15.1%	939 14.6%
	(8) 家庭や地域との連絡・交流などの連携	262 9.0%	213 6.1%	475 7.4%
	(9) 学校の施設・設備の充実	36 1.2%	65 1.9%	101 1.6%
	(10) その他	10 0.3%	13 0.4%	23 0.4%
	無回答・無効回答	13 0.4%	66 1.9%	79 1.2%

(10) 中学校の教育では、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(3つまで)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(1)基礎的な学力を身につけさせること」、②「(4)いじめ、非行、不登校などへの対応の強化」、③「(7)教師と児童・生徒がよりよい人間関係を築くこと」の順で回答率が高かった。

		n=2,883	n=3,314	n=6,197
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
①①	(1) 基礎的な学力を身につけさせること	532 18.5%	689 20.8%	1,221 19.7%
	(2) 基本的な生活習慣を身につけさせること	249 8.6%	197 5.9%	446 7.2%
	(3) 道徳教育の充実	395 13.7%	357 10.8%	752 12.1%
②②	(4) いじめ、非行、不登校などへの対応の強化	489 17.0%	562 17.0%	1,051 17.0%
	(5) 小学校と中学校の連携を強めること	91 3.2%	79 2.4%	170 2.7%
	(6) 進路指導の充実	370 12.8%	506 15.3%	876 14.1%
③③	(7) 教師と児童・生徒がよりよい人間関係を築くこと	427 14.8%	512 15.4%	939 15.2%
	(8) 家庭や地域との連絡・交流などの連携	212 7.4%	158 4.8%	370 6.0%
	(9) 学校の施設・設備の充実	73 2.5%	86 2.6%	159 2.6%
	(10) その他	14 0.5%	21 0.6%	35 0.6%
	無回答・無効回答	31 1.1%	147 4.4%	178 2.9%

(11) 今の高等学校の教育についてどう思いますか。(1つ)

【概要】

○一般県民、保護者とも、「(6)わからない」と答えた割合が最も高かった。

○一般県民、保護者とも、二番目に回答率が高かったのは「(2)ほぼ満足している」であり、「(1)満足している」と答えた割合と合わせると、一般県民では25%、保護者では31%を占めている。

		n=1,034	n=1,293	n=2,327
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
②②	(1) 満足している	33 3.2%	40 3.1%	73 3.1%
	(2) ほぼ満足している	225 21.8%	355 27.5%	580 24.9%
	(3) やや不満である	218 21.1%	220 17.0%	438 18.8%
①①	(4) 不満である	131 12.7%	83 6.4%	214 9.2%
	(5) どちらともいえない	141 13.6%	166 12.8%	307 13.2%
	(6) わからない	267 25.8%	385 29.8%	652 28.0%
	無回答・無効回答	19 1.8%	44 3.4%	63 2.7%

(12) 高等学校の教育では、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(3つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(3)一人一人の適性や希望を踏まえた進路指導の充実」、②「(4)高校生として求められる学力の習得のための学習指導の充実」、③「(2)道徳教育の充実」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(3)一人一人の適性...」、②「(4)高校生として求められる学力...」、③「(7)家庭への教育費の負担を軽減すること」の順で回答率が高かった。

		n=2,939	n=3,503	n=6,442
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 非行防止の取り組みなど、生徒の健全育成	357 12.1%	360 10.3%	717 11.1%
③	(2) 道徳教育の充実	382 13.0%	385 11.0%	767 11.9%
①①	(3) 一人一人の適性や希望を踏まえた進路指導の充実	610 20.8%	811 23.2%	1,421 22.1%
②②	(4) 高校生として求められる学力の習得のための学習指導の充実	511 17.4%	579 16.5%	1,090 16.9%
	(5) 教員と生徒がよりよい人間関係を築くこと	236 8.0%	281 8.0%	517 8.0%
	(6) 校則を見直すなど、生徒の自主性を尊重すること	111 3.8%	100 2.9%	211 3.3%
③	(7) 家庭への教育費の負担を軽減すること	215 7.3%	443 12.6%	658 10.2%
	(8) 農業・工業・商業などの専門教育の充実	231 7.9%	212 6.1%	443 6.9%
	(9) 家庭や地域との連携や交流を多くすること	91 3.1%	76 2.2%	167 2.6%
	(10) 部活動などの指導の充実	116 3.9%	124 3.5%	240 3.7%
	(11) 学校の施設・設備の充実	48 1.6%	68 1.9%	116 1.8%
	(12) その他	21 0.7%	26 0.7%	47 0.7%
	無回答・無効回答	10 0.3%	38 1.1%	48 0.7%

(13) 特別支援教育(障害などをもつ子どものための教育)について、あなたの考えに近いものは何ですか。(2つまで)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(5)どのような教育が適切かは、障害の種別によって異なるので、専門家の助言を参考にすることが望ましい」、②「(6)学校の選択は、保護者や本人の意思を第一に尊重すべきである」、③「(3)特別支援学級に在籍し、交流や共同学習を行い適切な教育をすることが望ましい」の順で回答率が高かった。

		n=1,909	n=2,255	n=4,164
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 地域の小・中学校などで、すべていっしょに教育することが望ましい	96 5.0%	95 4.2%	191 4.6%
	(2) 通常の学級に在籍し、必要に応じて適切な教育をすることが望ましい	291 15.2%	345 15.3%	636 15.3%
③③	(3) 特別支援学級に在籍し、交流や共同学習を行い適切な教育をすることが望ましい	306 16.0%	404 17.9%	710 17.1%
	(4) 必要な設備やスタッフの整った専門の学校(特別支援学校)で教育することが望ましい	218 11.4%	178 7.9%	396 9.5%
①①	(5) どのような教育が適切かは、障害の種別によって異なるので、専門家の助言を参考にすることが望ましい	531 27.8%	651 28.9%	1,182 28.4%
②②	(6) 学校の選択は、保護者や本人の意思を第一に尊重すべきである	440 23.0%	546 24.2%	986 23.7%
	(7) その他	18 0.9%	14 0.6%	32 0.8%
	無回答・無効回答	9 0.5%	22 1.0%	31 0.7%

(14)望ましい(小学校の)教師とは、どのような教師だと思いますか。(3つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(2)子どもによくわかる教え方をする教員」、②「(6)公平に子どもと接する教員」、③「(7)子どもの適正を把握し、個性を伸ばす教員」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(2)子どもによくわかる...」、②「(6)公平に子どもと...」、③「子どもの立場になって考える教員」の順で回答率が高かった。

		n=2,973	n=3,580	n=6,553
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 高い専門的知識や技術を持つ教員	47 1.6%	70 2.0%	117 1.8%
①①	(2) 子どもによくわかる教え方をする教員	835 28.1%	969 27.1%	1,804 27.5%
	(3) 物事や現象を感動を持って語ることでできる感性豊かな教員	311 10.5%	310 8.7%	621 9.5%
③	(4) 子どもの立場になって考える教員	314 10.6%	474 13.2%	788 12.0%
	(5) 明るく子どもと接する教員	275 9.2%	251 7.0%	526 8.0%
②②	(6) 公平に子どもと接する教員	496 16.7%	619 17.3%	1,115 17.0%
③	(7) 子どもの適性を把握し、個性を伸ばす教員	321 10.8%	467 13.0%	788 12.0%
	(8) 子どもをきびしく指導できる教員	126 4.2%	140 3.9%	266 4.1%
	(9) 何でも気軽に相談できる教員	147 4.9%	162 4.5%	309 4.7%
	(10) 学校だけでなく、地域活動や社会活動でも指導者になってくれる教員	85 2.9%	47 1.3%	132 2.0%
	(11) その他	6 0.2%	6 0.2%	12 0.2%
	無回答・無効回答	10 0.3%	65 1.8%	75 1.1%

(15)望ましい(中学校の)教師とは、どのような教師だと思いますか。(3つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(7)子どもの適正を把握し、個性を伸ばす教員」、②「(2)子どもによくわかる教え方をする教員」、③「(6)公平に子どもと接する教員」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(2)子どもによくわかる...」、②「(7)子どもの適正を把握...」、③「(6)公平に子どもと接する...」の順で回答率が高かった。

		n=2,939	n=3,404	n=6,343
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 高い専門的知識や技術を持つ教員	163 5.5%	199 5.8%	362 5.7%
②①	(2) 子どもによくわかる教え方をする教員	477 16.2%	635 18.7%	1,112 17.5%
	(3) 物事や現象を感動を持って語ることでできる感性豊かな教員	272 9.3%	243 7.1%	515 8.1%
	(4) 子どもの立場になって考える教員	301 10.2%	351 10.3%	652 10.3%
	(5) 明るく子どもと接する教員	68 2.3%	68 2.0%	136 2.1%
③③	(6) 公平に子どもと接する教員	403 13.7%	484 14.2%	887 14.0%
①②	(7) 子どもの適性を把握し、個性を伸ばす教員	487 16.6%	558 16.4%	1,045 16.5%
	(8) 子どもをきびしく指導できる教員	286 9.7%	275 8.1%	561 8.8%
	(9) 何でも気軽に相談できる教員	323 11.0%	380 11.2%	703 11.1%
	(10) 学校だけでなく、地域活動や社会活動でも指導者になってくれる教員	128 4.4%	57 1.7%	185 2.9%
	(11) その他	6 0.2%	7 0.2%	13 0.2%
	無回答・無効回答	25 0.9%	147 4.3%	172 2.7%

(16)望ましい(高校の)教師とは、どのような教師だと思いますか。(3つまで)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(1)高い専門的知識や技術を持つ教員」、②「(7)子どもの適性を把握し、個性を伸ばす教員」、③「(9)何でも気軽に相談できる教員」の順で回答率が高かった(なお、保護者については、「(2)子どもによくわかる教え方をする教員」が「(9)何でも気軽に…」と同率で3番目に高い回答率になっている。)

		n=2,916	n=3,309	n=6,225
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
①①	(1) 高い専門的知識や技術を持つ教員	650 22.3%	670 20.2%	1,320 21.2%
③	(2) 子どもによくわかる教え方をする教員	272 9.3%	386 11.7%	658 10.6%
	(3) 物事や現象を感動を持って語ることでできる感性豊かな教員	236 8.1%	190 5.7%	426 6.8%
	(4) 子どもの立場になって考える教員	179 6.1%	214 6.5%	393 6.3%
	(5) 明るく子どもと接する教員	29 1.0%	47 1.4%	76 1.2%
	(6) 公平に子どもと接する教員	235 8.1%	299 9.0%	534 8.6%
②②	(7) 子どもの適性を把握し、個性を伸ばす教員	518 17.8%	610 18.4%	1,128 18.1%
	(8) 子どもをきびしく指導できる教員	232 8.0%	234 7.1%	466 7.5%
③③	(9) 何でも気軽に相談できる教員	367 12.6%	386 11.7%	753 12.1%
	(10) 学校だけでなく、地域活動や社会活動でも指導者になってくれる教員	156 5.3%	91 2.8%	247 4.0%
	(11) その他	13 0.4%	7 0.2%	20 0.3%
	無回答・無効回答	29 1.0%	175 5.3%	204 3.3%

(17) 宮城県の小・中学生の学力は、平成19年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果をみると、2年連続して全国平均を下回る状況が続いています。このことについてどう思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(3)テストの点数を上げることよりも、将来に夢を描いて努力すること、命を大切にす心や思いやりの心を育てることなどを重視するべきである」、②「(2)ドリル学習を行うなど、各教科の基礎基本をしっかりと身に付けさせることが大切である」、③「(5)全国の平均や他県との数字の比較は意味がない」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(2)ドリル学習を行うなど…」、②「(3)テストの点数を上げることよりも、将来に夢を…」、③「(5)全国の平均や他県との数字の比較は…」の順で回答率が高かった。

		n=1,897	n=2,226	n=4,123
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 全国でもトップクラスを目指し、もっと高い点を取れるよう努力が必要である	123 6.5%	180 8.1%	303 7.3%
②①	(2) ドリル学習を行うなど、各教科の基礎基本をしっかりと身に付けさせることが大切である	594 31.3%	830 37.3%	1,424 34.5%
①②	(3) テストの点数を上げることよりも、将来に夢を描いて努力すること、命を大切にす心や思いやりの心を育てることなどを重視するべきである	695 36.6%	701 31.5%	1,396 33.9%
	(4) 学力よりも、体力を付けることが重要である	104 5.5%	91 4.1%	195 4.7%
③③	(5) 全国の平均や他県との数字の比較は意味がない	309 16.3%	354 15.9%	663 16.1%
	(6) その他	68 3.6%	56 2.5%	124 3.0%
	無回答・無効回答	4 0.2%	14 0.6%	18 0.4%

(18) 平成19年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果によると、平日及び休日に学校以外で勉強する時間が全国と比べてかなり少ないことが分かりました。このことについてどう思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(4)学習は時間よりも質が大事であり、効果的な家庭学習の方法を研究する必要がある」、②「(5)学校の学習で十分な学力が身につくようにするべきである」、③「(2)子どもの学習習慣が身に付くよう保護者が家庭で教育しなければならない」の順で回答率が高かった。

		n=1,898	n=2,242	n=4,140
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 宿題をもっと多く出すなど、家庭と学校が連携し勉強を促す取組が必要である	209 11.0%	347 15.5%	556 13.4%
③③	(2) 子どもの学習習慣が身に付くよう保護者が家庭で教育しなければならない	327 17.2%	349 15.6%	676 16.3%
	(3) 塾などをうまく利用して時間を増やすべき	64 3.4%	82 3.7%	146 3.5%
①①	(4) 学習は時間よりも質が大事であり、効果的な家庭学習の方法を研究する必要がある	598 31.5%	704 31.4%	1,302 31.4%
②②	(5) 学校の学習で十分な学力が身につくようにするべきである	480 25.3%	509 22.7%	989 23.9%
	(6) 全国の平均や他県と比べても意味がない	176 9.3%	204 9.1%	380 9.2%
	(7) その他	40 2.1%	35 1.6%	75 1.8%
	無回答・無効回答	4 0.2%	12 0.5%	16 0.4%

(19) 毎年文部科学省が行っている調査によって、宮城県の高校生の大学進学率・現役進学達成率が全国的に見て低位となっています。このことについてどう思いますか。(1つ)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(3)進学も就職も、生徒自身が早いうちに将来になりたい職業などの希望を持ち、目標に向けて努力させることが大切である」、②「(2)生徒の希望を尊重した結果であれば、進学率や現役進学達成率が低くても特に問題ではない」、③「(1)生徒が希望した大学等に入学できるよう、低位となっている原因を調べ、生徒の適性に見合った進学指導にもっと力を入れる必要がある」の順で回答率が高かった。

		n=1,034	n=1,293	n=2,327
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
③③	(1) 生徒が希望した大学等に入学できるよう、低位となっている原因を調べ、生徒の適性に見合った進学指導にもっと力を入れる必要がある	239 23.1%	327 25.3%	566 24.3%
②②	(2) 生徒の希望を尊重した結果であれば、進学率や現役進学達成率が低くても特に問題ではない	272 26.3%	333 25.8%	605 26.0%
①①	(3) 進学も就職も、生徒自身が早いうちに将来になりたい職業などの希望を持ち、目標に向けて努力させることが大切である	439 42.5%	480 37.1%	919 39.5%
	(4) 他の都道府県と数字上の結果を比較するのは意味がない	48 4.6%	71 5.5%	119 5.1%
	(5) その他	12 1.2%	18 1.4%	30 1.3%
	無回答・無効回答	24 2.3%	64 4.9%	88 3.8%

(20) 平成18年度に行われた文部科学省の調査によると、宮城県内の学校でのいじめが発生する割合、子どもが不登校になる割合は、全国平均よりも高くなっています。これらの問題の大きな原因はどこにあると思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(2)人を敬う気持ちや、他人への思いやり、いたわりが少ない地域社会の風潮」、②「(6)親が仕事で忙しく子どもと過ごす時間が少ないなどの家庭の環境」、③「(7)子どもたちのコミュニケーション能力の低下」の順で回答率が高かった。
 ○保護者は、①「(2)人を敬う気持ちや、他人への思いやり...」、②「(7)子どもたちのコミュニケーション能力...」、③「(6)親が仕事で忙しく...」の順で回答率が高かった。

		n=1,998	n=2,434	n=4,432
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
②③	(1) 親が仕事で忙しく子どもと過ごす時間が少ないなどの家庭の環境	410 20.5%	423 17.4%	833 18.8%
①①	(2) 人を敬う気持ちや、他人への思いやり、いたわりが少ない地域社会の風潮	503 25.2%	641 26.3%	1,144 25.8%
	(3) 携帯電話やインターネット、有害なテレビ番組、雑誌など	249 12.5%	290 11.9%	539 12.2%
	(4) 学校・教師の対応や指導が不十分	148 7.4%	159 6.5%	307 6.9%
	(5) 家庭と学校の連携の不足	166 8.3%	170 7.0%	336 7.6%
	(6) 受験や成績など親の期待に対するストレス	128 6.4%	113 4.6%	241 5.4%
③②	(7) 子どもたちのコミュニケーション能力の低下	358 17.9%	577 23.7%	935 21.1%
	(8) その他	30 1.5%	50 2.1%	80 1.8%
	無回答・無効回答	6 0.3%	11 0.5%	17 0.4%

(21) 児童生徒のいじめ、不登校などへの対応として、特に必要と思われることは何ですか。(2つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(3)奉仕活動や福祉体験などを通じて、思いやりの心や公共心などを育てること」、②「(1)親が仕事で忙しく子どもと過ごす時間が少ないなどの家庭環境の改善」、③「(4)学校にカウンセラー、相談員などの専門家を置き、子どもや保護者が相談しやすい体制を作ること」の順で回答率が高かった。
 ○保護者は、①「(1)親が仕事で忙しく...」、②「(4)学校にカウンセラー、相談員など...」、③「(3)奉仕活動や福祉体験...」の順で回答率が高かった。

		n=1,950	n=2,331	n=4,281
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
②①	(1) 親が仕事で忙しく子どもと過ごす時間が少ないなどの家庭環境の改善	391 20.1%	493 21.1%	884 20.6%
	(2) 学校において道徳教育や生徒指導に力を入れること	339 17.4%	433 18.6%	772 18.0%
①③	(3) 奉仕活動や福祉体験などを通じて、思いやりの心や公共心などを育てること	485 24.9%	447 19.2%	932 21.8%
③②	(4) 学校にカウンセラー、相談員などの専門家を置き、子どもや保護者が相談しやすい体制を作ること	360 18.5%	458 19.6%	818 19.1%
	(5) 道徳に関する講演やシンポジウムを開催したり、啓発パンフレットを配付し県民の気運を高めること	47 2.4%	46 2.0%	93 2.2%
	(6) 地域ぐるみで子どもや保護者にはたらきかける仕組みを整えること	174 8.9%	174 7.5%	348 8.1%
	(7) フリースクールなどの民間施設との連携・協力を強めること	118 6.1%	215 9.2%	333 7.8%
	(8) その他	32 1.6%	43 1.8%	75 1.8%
	無回答・無効回答	4 0.2%	22 0.9%	26 0.6%

(22) 教育に関して、行政(県や市町村)でこれから特に力を入れてほしいと思うことは何ですか(2つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(2)教員の資質を向上させること」、②「(3)教員がゆとりをもって子どもの相手ができるよう教員の数を増やすこと」、③「(4)社会の変化やニーズに合わせて教育の内容を見直すこと」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(3)教員がゆとりをもって...」、②「(2)教員の資質を向上...」、③「(7)保護者の教育費の負担を少なくすること」の順で回答率が高かった。

	n=1,965	n=2,399	n=4,364
一保	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
(1) 学校の施設や設備を整備すること	69 3.5%	132 5.5%	201 4.6%
①② (2) 教員の資質を向上させること	481 24.5%	495 20.6%	976 22.4%
②① (3) 教員がゆとりをもって子どもの相手ができるよう教員の数を増やすこと	460 23.4%	554 23.1%	1,014 23.2%
③ (4) 社会の変化やニーズに合わせて教育の内容を見直すこと	283 14.4%	309 12.9%	592 13.6%
(5) 学校と家庭や地域とのつながりを深めること	271 13.8%	218 9.1%	489 11.2%
(6) 学科・コースの新設などの魅力ある高校づくりを進めること	133 6.8%	177 7.4%	310 7.1%
③ (7) 保護者の教育費の負担を少なくすること	160 8.1%	362 15.1%	522 12.0%
(8) 高校入試の方法を見直すこと	82 4.2%	110 4.6%	192 4.4%
(9) その他	19 1.0%	28 1.2%	47 1.1%
無回答・無効回答	7 0.4%	14 0.6%	21 0.5%

Ⅲ 家庭や地域の教育の今とこれからのについて

(23) 家庭が担うべき役割として特に大事なことは何だと思えますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(5)人を敬う気持ちや、他人への思いやり、いたわりの気持ちを生活の中で育てること」、②「(2)早寝、早起き、朝ご飯などの基本的な生活習慣を定着させること」、③「(1)社会のルールや規範意識を身につけさせること」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(5)人を敬う気持ちや、他人への思いやり...」、②「(1)社会のルールや規範意識...」、③「(2)早寝、早起き、朝ご飯など...」の順で回答率が高かった。

	n=2,036	n=2,513	n=4,549
一保	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
③② (1) 社会のルールや規範意識を身につけさせること	370 18.2%	483 19.2%	853 18.8%
②③ (2) 早寝、早起き、朝ご飯などの基本的な生活習慣を定着させること	397 19.5%	463 18.4%	860 18.9%
(3) 家庭における学習習慣を定着させること	49 2.4%	72 2.9%	121 2.7%
(4) あいさつや望ましい態度、言葉遣いなどができるようにすること	266 13.1%	389 15.5%	655 14.4%
①① (5) 人を敬う気持ちや、他人への思いやり、いたわりの気持ちを生活の中で育てること	646 31.7%	802 31.9%	1,448 31.8%
(6) 自然体験などのさまざまな体験を経験させること	61 3.0%	66 2.6%	127 2.8%
(7) 自然や物を大切にすることを教えること	79 3.9%	91 3.6%	170 3.7%
(8) がまんすることを教えること	154 7.6%	131 5.2%	285 6.3%
(9) その他	10 0.5%	9 0.4%	19 0.4%
無回答・無効回答	4 0.2%	7 0.3%	11 0.2%

(24) 最近は家庭でのしつけや人格形成の教育が不足しているという見方がありますが、あなたはこのことについてどう思いますか。(1つ)

【概要】

○一般県民、保護者とも、「(2)ある程度そう思う」の回答率が最も高く、「(1)全くそのとおりだと思う」と合わせると、一般県民で94%、保護者で88%を占めている。

		n=1,034	n=1,293	n=2,327
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
②②	(1) 全くそのとおりだと思う	480 46.4%	422 32.6%	902 38.8%
①①	(2) ある程度そう思う	492 47.6%	722 55.8%	1,214 52.2%
	(3) あまりそう思わない	26 2.5%	74 5.7%	100 4.3%
	(4) 全くそう思わない	3 0.3%	8 0.6%	11 0.5%
	(5) どちらともいえない	27 2.6%	56 4.3%	83 3.6%
	無回答・無効回答	6 0.6%	11 0.9%	17 0.7%

(25) [(24)で「1:」または「2:」と答えた方におたずねします。]家庭の教育力を低下させている原因は何だと思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(1)親子の対話不足」、②「(2)親が仕事で忙しく子どもと過ごす時間が少ないなどの家庭の環境」、③「学校や外部の教育機関に対するしつけの依存」の順で回答率が高かった。

		n=1,853	n=2,114	n=3,967
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
	(1) 子どもの学業成績だけに目を向ける親の姿勢	228 12.3%	214 10.1%	442 11.1%
①①	(2) 親子の対話不足	351 18.9%	453 21.4%	804 20.3%
②②	(3) 親が仕事で忙しく子どもと過ごす時間が少ないなどの家庭の環境	309 16.7%	383 18.1%	692 17.4%
③③	(4) 学校や外部の教育機関に対するしつけの依存	263 14.2%	277 13.1%	540 13.6%
	(5) 子どものしつけや教育に自信をなくした親の増加	146 7.9%	154 7.3%	300 7.6%
	(6) テレビや雑誌などマスメディアの影響	173 9.3%	186 8.8%	359 9.0%
	(7) 家族内の相互無関心傾向	125 6.7%	143 6.8%	268 6.8%
	(8) 兄弟姉妹の間で励まし競い合う機会の不足	48 2.6%	42 2.0%	90 2.3%
	(9) 人を敬う気持ちや、他人への思いやり、いたわりが少ない地域社会の風潮	176 9.5%	221 10.5%	397 10.0%
	(10) その他	31 1.7%	38 1.8%	69 1.7%
	無回答・無効回答	3 0.2%	3 0.1%	6 0.2%

(26) 家庭教育を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民は①「(3)親が仕事で忙しく子どもと過ごす時間が少ないなどの就労環境や家庭環境の改善」、②「(1)親の積極的な家庭教育への関与」、③「(4)家庭教育の重要性についての啓発」の順で回答率が高かった。

○保護者は①「(1)親の積極的な家庭教育...」、②「(3)親が仕事で忙しく...」、③「(1)子どもが体験活動を行う機会の提供」の順で回答率が高かった。

		n=1,909	n=2,221	n=4,130
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
②①	(1) 親の積極的な家庭教育への関与	432 22.6%	574 25.8%	1,006 24.4%
③	(2) 子どもが体験活動を行う機会の提供	250 13.1%	299 13.5%	549 13.3%
①②	(3) 親が仕事で忙しく子どもと過ごす時間が少ないなどの就労環境や家庭環境の改善	465 24.4%	571 25.7%	1,036 25.1%
③	(4) 家庭教育の重要性についての啓発	290 15.2%	286 12.9%	576 13.9%
	(5) 子どもや親同士が交流できる機会の提供	282 14.8%	243 10.9%	525 12.7%
	(6) 家庭教育に関する相談体制の充実	144 7.5%	179 8.1%	323 7.8%
	(7) その他	27 1.4%	37 1.7%	64 1.5%
	無回答・無効回答	19 1.0%	32 1.4%	51 1.2%

(27) 地域社会が担うべき役割として大事だと思うことは何ですか。(2つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(1)子どもたちの安全・安心を確保するための活動」、②「(6)子どもに礼儀やしつけをしっかりと教えること」、③「(4)自然体験や社会体験の場を提供すること」の順で回答率が高かった。

○保護者は、①「(1)子どもたちの安全・安心...」、②「(4)自然体験や社会体験の場...」、③「(2)異なる世代との交流の推進」の順で回答率が高かった。

		n=1,960	n=2,360	n=4,320
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
①①	(1) 子どもたちの安全・安心を確保するための活動	583 29.7%	886 37.5%	1,469 34.0%
③	(2) 異なる世代との交流の推進	284 14.5%	308 13.1%	592 13.7%
	(3) 地域の優れた人材・企業等を活用した教育の推進	112 5.7%	142 6.0%	254 5.9%
③②	(4) 自然体験や社会体験の場を提供すること	299 15.2%	318 13.5%	616 14.3%
	(5) 博物館や科学館を充実させて地域の歴史や自然誌、文化を学ぶ機会を増やすこと	39 2.0%	68 2.9%	107 2.5%
②	(6) 子どもに礼儀やしつけをしっかりと教えること	347 17.7%	295 12.5%	642 14.9%
	(7) 学校の運営や行事などに、地域の住民や企業等が参画、協力すること	124 6.3%	120 5.1%	244 5.6%
	(8) スポーツ少年団や発明クラブの活動など、子どもの個性を伸ばす教育を推進すること	136 6.9%	177 7.5%	313 7.2%
	(9) その他	17 0.9%	17 0.7%	34 0.8%
	無回答・無効回答	20 1.0%	29 1.2%	49 1.1%

(28) 地域社会の教育的活動を活性化するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(1)子育てや教育活動などに必要な時間が確実に取得できる就労環境の整備」、②「(2)年齢や子どもの有無に関わらず、子育てや教育に参加できるイベントなどの活動を増やすこと」、③「(6)地域社会の教育的活動を受け入れる学校の体制整備」の順で回答率が高かった。

		n=1,832	n=2,110	n=3,942
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
①①	(1) 子育てや教育活動などに必要な時間が確実に取得できる就労環境の整備	501 27.3%	719 34.1%	1,220 30.9%
②②	(2) 年齢や子どもの有無に関わらず、子育てや教育に参加できるイベントなどの活動を増やすこと	377 20.6%	439 20.8%	816 20.7%
	(3) 町内会活動、子ども会活動の活発化	261 14.2%	224 10.6%	485 12.3%
	(4) 行政や学校から地域住民に地域社会で取り組む教育活動の重要性をアピールすること	211 11.5%	226 10.7%	437 11.1%
	(5) 地域社会のリーダー役となる人材の育成	158 8.6%	130 6.2%	288 7.3%
③③	(6) 地域社会の教育的活動を受け入れる学校の体制整備	264 14.4%	280 13.3%	544 13.8%
	(7) その他	30 1.6%	44 2.1%	74 1.9%
	無回答・無効回答	30 1.6%	48 2.3%	78 2.0%

(29) あなたが、地域社会で教育的活動を実践するとしたら、どのようなものに携わっていきたいと思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(6)通学路清掃, 防犯パトロール等のボランティア活動」、②「(2)子ども会や町内会活動の世話役」、③「(1)保護者としてPTA活動に参加」の順に回答率が高かった。
 ○保護者は、①「(1)保護者としてPTA活動に...」、②「(6)通学路清掃, 防犯パトロール等...」、③「(2)子ども会や町内会活動...」の順に回答率が高かった。

	n=1,774	n=2,091	n=3,865
一保	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
③① (1) 保護者としてPTA活動に参加	273 15.4%	630 30.1%	903 23.4%
②③ (2) 子ども会や町内会活動の世話役	296 16.7%	350 16.7%	646 16.7%
(3) 学校の体験活動の場所を提供したり、経験を生かした講演活動など	164 9.2%	138 6.6%	302 7.8%
(4) 放課後や休日などにおける地域の子どもの活動の世話役	268 15.1%	207 9.9%	475 12.3%
(5) スポーツの指導や地域の伝統文化に関する活動	181 10.2%	165 7.9%	346 9.0%
①② (6) 通学路清掃, 防犯パトロール等のボランティア活動	462 26.0%	441 21.1%	903 23.4%
(7) 関わりたくない	47 2.6%	80 3.8%	127 3.3%
(8) その他	57 3.2%	43 2.1%	100 2.6%
無回答・無効回答	26 1.5%	37 1.8%	63 1.6%

(30) 核家族化などの社会の変化から、子育てに関する悩みを持つ家庭が増えているといわれていますが、安心した子育てにはどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(2)遊び場や児童館など、安心して子どもが集える場の整備」、②「(3)親子や高齢者などが世代を超えて気軽にふれあう場や機会の提供」、③「(3)幼稚園や保育園の延長保育や、学童保育の充実」の順で回答率が高かった。
 ○保護者は、①「(2)遊び場や児童館など...」、②「(3)幼稚園や保育園の延長保育...」③「(4)仕事をもつ保護者への企業の理解と協力をすすめる取組」の順で回答率が高かった。

	n=1,965	n=2,393	n=4,358
一保	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
③② (1) 幼稚園や保育園の延長保育や、学童保育の充実	327 16.6%	431 18.0%	758 17.4%
①① (2) 遊び場や児童館など、安心して子どもが集える場の整備	361 18.4%	556 23.2%	917 21.0%
② (3) 親子や高齢者などが世代を超えて気軽にふれあう場や機会の提供	330 16.8%	248 10.4%	578 13.3%
③ (4) 仕事をもつ保護者への企業の理解と協力をすすめる取組	319 16.2%	409 17.1%	728 16.7%
(5) 気軽に相談できる窓口(役所やNPOなど)の設置	120 6.1%	127 5.3%	247 5.7%
(6) 子育てに関する豊富な情報の提供	115 5.9%	130 5.4%	245 5.6%
(7) 非行防止や、青少年に有害な図書回収など社会環境浄化活動の強化	80 4.1%	56 2.3%	136 3.1%
(8) 乳幼児医療費や保育料などへの経済的支援の充実	192 9.8%	308 12.9%	500 11.5%
(9) 青少年活動や子育てグループ活動を支援する人材の育成	90 4.6%	77 3.2%	167 3.8%
(10) その他	10 0.5%	18 0.8%	28 0.6%
無回答・無効回答	21 1.1%	33 1.4%	54 1.2%

(31) 宮城県で取り組んでいる、「はやね・はやおき・あさごはん」推奨運動(子どもの基本的な生活習慣を定着させるための様々な広報・啓発活動)について知っていますか。(1つ)

【概要】

○一般県民は、①「(2)運動の内容をよく知らないが、大切なことだと思う」、②「(1)運動の内容をよく知っており、大切なことだと思う」の順で回答率が高かった。

○保護者、①「(1)運動の内容をよく知っており、大切なことだと思う」、②「(2)運動の内容をよく知らないが、大切なことだと思う」の順で回答率が高かった。

		n=1,034	n=1,293	n=2,327
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
②①	(1) 運動の内容をよく知っており、大切なことだと思う	373 36.1%	653 50.5%	1,026 44.1%
①②	(2) 運動の内容をよく知らないが、大切なことだと思う	603 58.3%	577 44.6%	1,180 50.7%
	(3) 運動の内容を知っているが、あまり大切なことだとは思わない	14 1.4%	21 1.6%	35 1.5%
	(4) 運動の内容を知らないし、あまり大切なことだとは思わない	14 1.4%	7 0.5%	21 0.9%
	(5) その他	13 1.3%	9 0.7%	22 0.9%
	無回答・無効回答	17 1.6%	26 2.0%	43 1.8%

(32) 「はやね・はやおき・あさごはん」推奨運動の進め方について、あなたの考えに最も近いものは何ですか。(2つまで)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(2)企業は、子どもを持つ社員が運動を実践しやすい就労環境づくりに取り組むべきである」、②「(4)学校が中心となって、家庭に指導をするなど積極的に進めるべきである」、③「(1)県と企業が協力してキャッチフレーズを流すなどの取り組みを進めるべきである」の順で回答率が高かった。

		n=1,714	n=1,943	n=3,657
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
③③	(1) 県と企業が協力してキャッチフレーズを流すなどの取り組みを進めるべきである	253 14.8%	307 15.8%	560 15.3%
①①	(2) 企業は、子どもを持つ社員が運動を実践しやすい就労環境づくりに取り組むべきである	346 20.2%	386 19.9%	732 20.0%
	(3) 県が主体となってイベントなどをもっと開催するべきである	235 13.7%	290 14.9%	525 14.4%
②②	(4) 学校が中心となって、家庭に指導をするなど積極的に進めるべきである	337 19.7%	337 17.3%	674 18.4%
	(5) 地域の自治会などが中心となって、家庭に呼びかけるなどして進めるべきである	209 12.2%	104 5.4%	313 8.6%
	(6)今のままでよい	73 4.3%	205 10.6%	278 7.6%
	(7) 各家庭の事情もあるので、家庭に任せることであり、おしつけるべきではない	201 11.7%	232 11.9%	433 11.8%
	(8) その他	40 2.3%	45 2.3%	85 2.3%
	無回答・無効回答	20 1.2%	37 1.9%	57 1.6%

IV 生涯学習やスポーツ、文化芸術に関することについて

(33) あなたは、どのような活動をしていますか。また、活動したいと思っていますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民は、①「(2)スポーツやレクリエーションなど体を動かす活動」、②「(6)子ども会や町内会などの住んでいる地域で行う活動」、③「(4)趣味のサークル活動」の順で回答率が高かった。

○一般県民は、①「(2)スポーツやレクリエーション...」、②「(6)子ども会や町内会...」、③「(1)伝統芸能や絵画、音楽などの鑑賞」の順で回答率が高かった。

		n=1,807	n=2,157	n=3,964
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
③	(1) 伝統芸能や絵画、音楽などの鑑賞	230 12.7%	299 13.9%	529 13.3%
①①	(2) スポーツやレクリエーションなど体を動かす活動	415 23.0%	481 22.3%	896 22.6%
	(3) 大学の公開講座や県民講座など自分の教養を高める一般向けの教室などへの参加	95 5.3%	106 4.9%	201 5.1%
③	(4) 趣味のサークル活動	300 16.6%	275 12.7%	575 14.5%
	(5) ボランティア活動	209 11.6%	181 8.4%	390 9.8%
②②	(6) 子ども会や町内会などの住んでいる地域で行う活動	302 16.7%	438 20.3%	740 18.7%
	(7) 資格取得など職業能力の向上となる、高度な知識や技術の習得	149 8.2%	250 11.6%	399 10.1%
	(8) 大学の社会人入学制度などを利用したキャリアアップ	22 1.2%	33 1.5%	55 1.4%
	(9) その他	53 2.9%	50 2.3%	103 2.6%
	無回答・無効回答	32 1.8%	44 2.0%	76 1.9%

(34) あなたの住んでいる地域で、生涯学習やスポーツ、文化芸術の活動を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(2つまで)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(1)地域での交流、仲間づくり」、②「(5)放課後の学校や公民館、体育館、広場などの活動拠点の充実」、③「(2)スポーツクラブやサークルなどの活動団体の設置」の順で回答率が高かった。

		n=1,827	n=2,115	n=3,942
一保		【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
①①	(1) 地域での交流、仲間づくり	523 28.6%	482 22.8%	1,005 25.5%
③③	(2) スポーツクラブやサークルなどの活動団体の設置	243 13.3%	332 15.7%	575 14.6%
	(3) 身近な指導者や世話人についての情報提供	234 12.8%	221 10.4%	455 11.5%
	(4) 活動を発表できる機会の増加	108 5.9%	120 5.7%	228 5.8%
②②	(5) 放課後の学校や公民館、体育館、広場などの活動拠点の充実	255 14.0%	384 18.2%	639 16.2%
	(6) 図書館や博物館などの整備	108 5.9%	209 9.9%	317 8.0%
	(7) 大学や自治体などが主催の公開講座や各種教室の充実	102 5.6%	97 4.6%	199 5.0%
	(8) 講演会、演奏会、展示会など鑑賞機会の充実	190 10.4%	179 8.5%	369 9.4%
	(9) その他	32 1.8%	42 2.0%	74 1.9%
	無回答・無効回答	32 1.8%	49 2.3%	81 2.1%

(35) 宮城県には、県立大学や東北大学など、たくさんの高等教育機関があり、開かれた教育の場として公開講座や出前教室等が行われ、県民が受講・参加することができますが、そのことを知っていますか。(1つ)

【概要】

○一般県民、保護者とも、①「(3)知らなかったが、受講・参加してみたい」、②「(2)知っており、受講・参加したいと思っている」の順に回答率が高かった。

一保	n=1,034		n=1,293		n=2,327	
	【一般県民】	【保護者】	(参考)	【総計】		
(1) 受講・参加したことがある	57 5.5%	60 4.6%	117 5.0%			
② ② (2) 知っており、受講・参加したいと思っている	231 22.3%	262 20.3%	493 21.2%			
① ① (3) 知らなかったが、受講・参加してみたい	405 39.2%	537 41.5%	942 40.5%			
(4) 知っていたが、受講・参加したいと思わない	115 11.1%	137 10.6%	252 10.8%			
(5) 知らなかったし、受講参加したいと思わない	148 14.3%	227 17.6%	375 16.1%			
(6) その他	52 5.0%	36 2.8%	88 3.8%			
無回答・無効回答	26 2.5%	34 2.6%	60 2.6%			

V 地域の特徴を生かした教育について

(36) 自然・文化・歴史などの地域の特性や、県内の高等教育機関を生かした教育を宮城で行うとしたら、どのようなものが考えられますか。(自由記述)

	n=1,034		n=1,293		n=2,327	
	【一般県民】	【保護者】	【総計(参考)】			
(1) 記述有り	296 28.6%	180 13.9%	476 20.5%			
無回答・無効回答	738 71.4%	1,113 86.1%	1,851 79.5%			

VI その他

(37) その他、教育に関してご意見等がありましたら記入願います。(自由記述)

	n=1,034		n=1,293		n=2,327	
	【一般県民】	【保護者】	(参考)	【総計】		
(1) 記述有り	355 34.3%	230 17.8%	585 25.1%			
無回答・無効回答	679 65.7%	1,063 82.2%	1,742 74.9%			

F 回答者の属性など

(38) 性別

	n=1,034	n=1,293	n=2,327
	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
(1) 男	408 39.5%	170 13.1%	578 24.8%
(2) 女	602 58.2%	1,098 84.9%	1,700 73.1%
無回答・無効回答	24 2.3%	25 1.9%	49 2.1%

(39) 現在の年齢

	n=1,034	n=1,293	n=2,327
	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
(1) 20～29歳	69 6.7%	73 5.6%	142 6.1%
(2) 30～39歳	155 15.0%	465 36.0%	620 26.6%
(3) 40～49歳	204 19.7%	602 46.6%	806 34.6%
(4) 50～59歳	312 30.2%	113 8.7%	425 18.3%
(5) 60～69歳	247 23.9%	6 0.5%	253 10.9%
(6) 70歳以上	18 1.7%	1 0.1%	19 0.8%
無回答・無効回答	29 2.8%	33 2.6%	62 2.7%

(40) お住まいの地区

	n=1,034	n=1,293	n=2,327
	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
(1) 仙台地区	138 13.3%	431 33.3%	569 24.5%
(2) 仙台市地区	122 11.8%	142 11.0%	264 11.3%
(3) 仙南地区	117 11.3%	274 21.2%	391 16.8%
(4) 大崎地区	122 11.8%	66 5.1%	188 8.1%
(5) 栗原地区	118 11.4%	89 6.9%	207 8.9%
(6) 登米地区	129 12.5%	42 3.2%	171 7.3%
(7) 石巻地区	122 11.8%	182 14.1%	304 13.1%
(8) 気仙沼・本吉地区	131 12.7%	28 2.2%	159 6.8%
無回答・無効回答	35 3.4%	39 3.0%	74 3.2%

(41) ご職業

	n=1,034	n=1,293	n=2,327
	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
(1) 農林漁業	78 7.5%	10 0.8%	88 3.8%
(2) 会社、工場、商店等の勤め人（パート、アルバイト等を除く）	227 22.0%	269 20.8%	496 21.3%
(3) 公務員、教職員、団体職員	111 10.7%	136 10.5%	247 10.6%
(4) 会社、工場、商店等の経営	83 8.0%	69 5.3%	152 6.5%
(5) 弁護士、医者、作家などの専門的職業	19 1.8%	53 4.1%	72 3.1%
(6) 家事専業	192 18.6%	233 18.0%	425 18.3%
(7) 家事兼業（パート、アルバイト等）	148 14.3%	408 31.6%	556 23.9%
(8) その他の職業	65 6.3%	57 4.4%	122 5.2%
(9) 学生	11 1.1%	2 0.2%	13 0.6%
(10) 職についていない人	66 6.4%	18 1.4%	84 3.6%
無回答・無効回答	34 3.3%	38 2.9%	72 3.1%

(42) 就職していない子どもの有無

	n=1,034	n=1,293	n=2,327
	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
(1) 無	548 53.0%	0 0.2%	548 23.5%
(2) 有	447 43.2%	1,291 99.7%	1,738 74.7%
無回答・無効回答	39 3.8%	2 0.2%	41 1.8%

(43) [(42)で「2:有」と答えた方におたずねします。]

	n=649	n=2,695	n=3,344
	【一般県民】	【保護者】	(参考) 【総計】
(1) 乳幼児	50 7.7%	81 3.0%	131 3.9%
(2) 保育所・保育園	39 6.0%	135 5.0%	174 5.2%
(3) 幼稚園	39 6.0%	193 7.2%	232 6.9%
(4) 小学生	144 22.2%	699 25.9%	843 25.2%
(5) 中学生	88 13.6%	489 18.1%	577 17.3%
(6) 高校生	113 17.4%	426 15.7%	539 16.1%
(7) 大学生・大学院生	88 13.6%	90 3.3%	178 5.3%
(8) 専門学校生、各種学校生	22 3.4%	14 0.5%	36 1.1%
(9) 受験準備等	3 0.5%	3 0.1%	6 0.2%
(10) その他、家事手伝いなど	57 8.8%	11 0.4%	68 2.0%
無回答・無効回答	6 0.9%	556 20.6%	562 16.8%